

環境建設常任委員会委員長報告
(平成25年9月25日報告)

環境建設常任委員会の審査の経過と結果の報告を申し上げます。

当委員会は、休会中の9月18日、19日、20日の3日間にわたり、付託されました14議案の審査を行いました。審査のため出席を求めたものは、副市長、技監、所管の各部長、課長等であります。

それでは、順次報告をいたします。

まず、議案第68号 栗東墓地公園条例の一部を改正する条例の制定について

及び、議案第69号 大津湖南都市計画 栗東市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について

及び、議案第70号 栗東市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について の

3議案については、質疑、討論もなく、採決の結果、全員一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第72号 栗東市道路線の認定について

委員から、行き止まり道路でも、開発指導要綱で有効幅員が4m以上の道路であれば認定していくとなっているが、防犯・防災上問題が出てくるのではないかと。との質疑に対し、当局から、栗東市だけでなく、全国的な技術指針があり、行き止まり道路は、転回広場と避難通路があれば許可していくものとなっている。との答弁がありました。

また、市道認定する場合の幅員や延長等に条件はあるのか。との質疑に対し、当局から、幅員の定めはあるが、延長にはない。との答弁がありました。

審議の後、討論もなく、採決の結果、全員一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第73号 平成25年度 栗東市一般会計補正予算（第2号）についてのうち 関係する歳出、歳入 について

委員から、耕作放棄地対策事業への補助で何を行うのか。との質疑に対し、当局から、今現在、栗東市の耕作放棄地は1ヘクタールあると国に報告しているが、今回実施するのは、高齢等の理由で耕作放棄地になりかけている農地がどれだけあるのかを、農業組合長に協力をいただきながら調査している。との答弁がありました。

また、いちょう通りの街路灯の電気使用料はどのようになっているのか。との質疑に対し、当局から、平成6年から「商店街街路灯電気料金等補助金交付要綱」を策定し、電気料金または保守費の3分の2を市が補助している。との答弁がありました。

また、空き家対策の調査をするとのことだが、何名体制でいつ頃から実施されるのか。との質疑に対し、当局から、空き家対策の指針に基づく実態調査として、臨時職員1名を採用し、今年10月から3月にかけて実施する。との答弁がありました。

審議の後、討論もなく、採決の結果、全員一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

なお、関係する歳入については、可決すべきものと決した旨、総務常任委員会委員長に報告いたしました。

次に、議案第76号 平成25年度 栗東市水道事業会計補正予算（第1号）について

委員から、連絡管や遮断管を新設とのことだが、設計の段階で分からなかったのか。との質疑に対し、当局から、出庭水源地拡張事業に伴う当初の国土交通省との協議の中では、新たに井戸を作った場合は、

古井戸を廃止しなければならないという計画であったが、それが変更になり、一定期間利用してもよくなったため設置をしたい。との答弁がありました。

審議の後、討論もなく、採決の結果、全員一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第77号 平成25年度 栗東市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）について

質疑、討論もなく、採決の結果、全員一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第78号 平成24年度 栗東市一般会計 歳入歳出決算認定についてのうち、関係する歳出、歳入・その他事項についてであります。

まず、審査に入る前に、平成24年度 決算関係指摘事項の処理状況について、各担当部長より報告がありました。

また、決算事項の参考とするため、平成24年度 各部重点事業進捗状況結果表について、各担当部長より総括を、担当課長より個別事項の説明がありました。

それでは、多くの質疑がありましたが、主なものを報告いたします。

まず、環境経済部関係では、委員から、レアメタルの収集についての考えは。との質疑に対し、当局から、小型家電リサイクル法の関係で若干取り組みを進めているが、県及び近隣市などの状況を見ながら今後対応していきたい。との答弁がありました。

また、動物の飼い方のマナーが悪い人が増えているが、飼い方指導は行っているのか。との質疑に対し、当局から、飼い方のマナーや鳴き声などの相談については、市と県の動物保護管理センターが協力して、直接飼い主に指導を行っている。との答弁がありました。

また、企業事業資金貸付金だけが問題視され、納税のほうがうやむやになっている。両方の担保を取る施策も考える必要があるのでは。との質疑に対し、当局から、現実的に相手が対応できるかという問題もあるが、他の方法も含め決断していく時期も見据えながら交渉に入っていける状況をつくっていきたい。との答弁がありました。

また、シルバー人材センターの会員数が年々減っている。育成する意味からも、もっとシルバーに受注するべきではないか。との質疑に対し、当局から、今後、公共事業の受託関係を検討する必要があり、シルバー世代のニーズに応じた市場改革も含め、センターとともに検討していきたい。との答弁がありました。

また、山の子事業の運営は、現在もすべて県補助で行っているのか。との質疑に対し、当局から、県からの要請を受けたもので、全額県補助である。との答弁がありました。

次に、建設部関係では、委員から、青地新田坊袋線の工事の進捗状況は。との質疑に対し、当局から、年明け1月頃から道路構造物を設置しながら上下水道工事を行い、その後、舗装工事を実施する予定であるが、地権者さんと随時調整しながら進めていく。との答弁がありました。

また、急傾斜地が昨年から何カ所も崩壊した。出来るだけ早く工事を促進しなければならないのでは。との質疑に対し、当局から、指定区域が警戒区域を含め93カ所ある。大規模については、県に早く施工してもらえよう要望していく。との答弁がありました。

また、耐震改修促進計画の中間点検業務を実施されたが、当初の計画通り進んでいるのか。との質疑に対し、当局から、中間点検では、住宅の耐震化、特定建築物、防災上重要な公共建築物の3項目に分けて実施した。計画では、耐震化率を平成27年度までに90%、公共施設は100%にする目標で、現在、住宅の耐震化率が85%、特定建築物が87.8%、公共施設では、学校給食共同調理場、中央公民館、治田西保育園の3施設が耐震化できていない状況である。との答弁がありました。

また、事務事業の執行について、財源確保と経常経費の節減に努めながら執行されているものと認識しているが、需用費、委託費、負担金及び交付金で不用額が多く見られる。適正な時期に補正を行い、不用額の減少に努められたい旨、申し入れを行いました。

慎重審議の後、討論もなく、採決の結果、全員一致で認定すべきものと決しました。

なお、関係する歳入・その他事項については、認定すべきものと決した旨、総務常任委員会委員長に報告いたしました。

次に、議案第83号 平成24年度 栗東墓地公園特別会計 歳入歳出決算認定について

及び、議案第84号 平成24年度 大津湖南都市計画事業 栗東駅前土地区画整理事業 特別会計 歳入歳出決算認定について

及び、議案第85号 平成24年度 大津湖南都市計画事業 栗東新都心土地区画整理事業 特別会計 歳入歳出決算認定について の

3議案については、質疑、討論もなく、採決の結果、全員一致で認定すべきものと決しました。

次に、議案第86号 平成24年度 栗東市水道事業会計 決算認定について

質疑、討論もなく、採決の結果、全員一致で可決認定すべきものと決しました。

次に、議案第87号 平成24年度 栗東市公共下水道事業 特別会計 歳入歳出決算認定について

及び、議案第88号 平成24年度 栗東市農業集落排水事業 特別会計 歳入歳出決算認定について の

2議案については、質疑、討論もなく、採決の結果、全員一致で認定すべきものと決しました。

なお、以上の決算関係については、環境建設常任委員会として指摘事項を取りまとめ、当局に申し入れをいたしましたので申し添えます。

以上をもちまして、当委員会に付託されました案件の審査結果の報告といたします。

よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。